

くノ一カエデの裏切り、

助けに行った幼馴染は既に僕以外の男に染められていた…

第一章 豹變

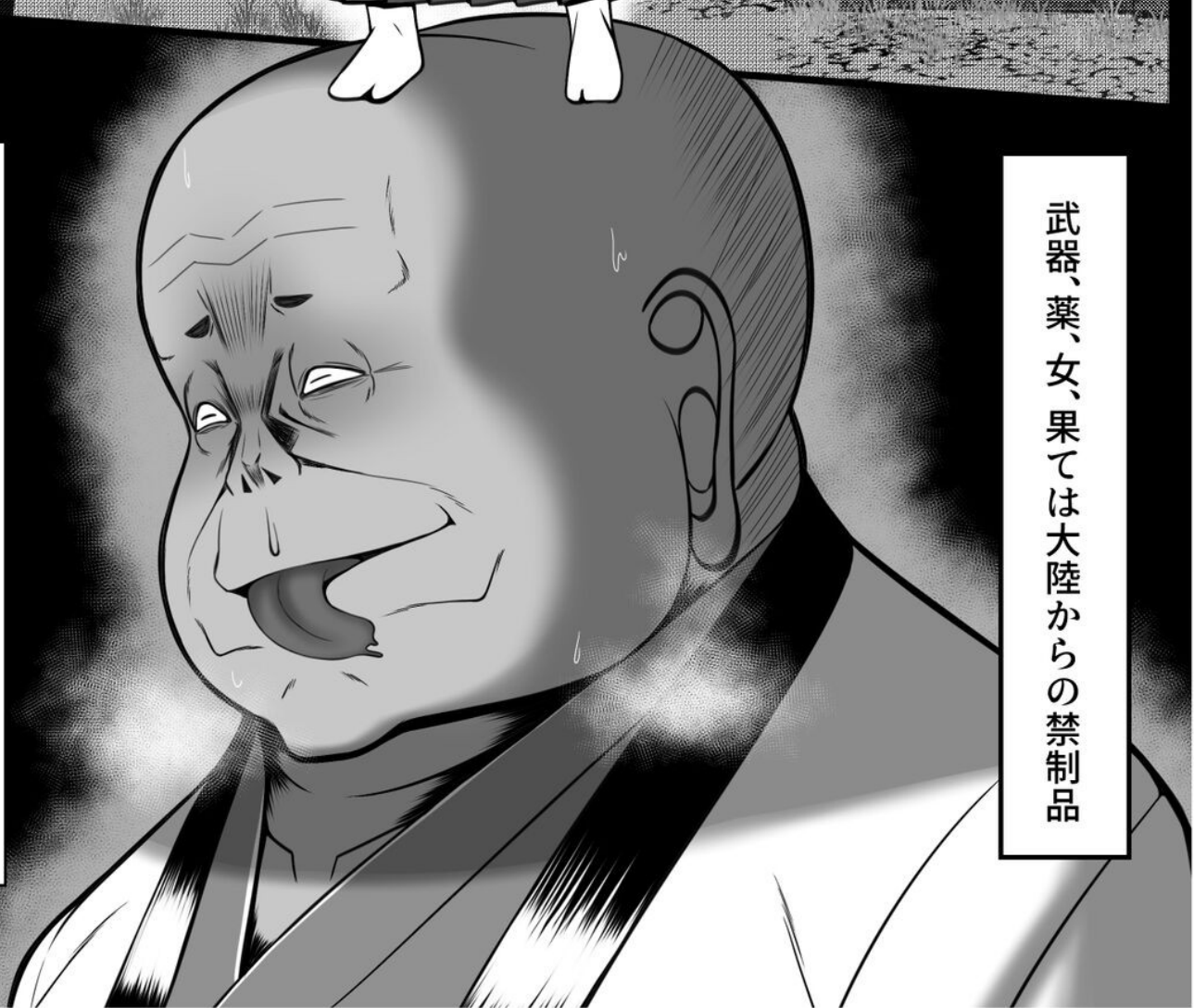
闇商人 ガマグチ

銭さえ支払えば何でも売りさばく
悪徳商人



武器、薬、女、果ては大陸からの禁制品

そして、敵対するものは容赦なく始末する
残虐非道な男







そもそも、
忍びが任務を選好みするなんて
聞いたこともないわよ

まだ忍びとしての自覚が足りないんじゃない？
そんなだから皆から馬鹿にされて…



べっ別に
怒ってるとかじゃないからねっ！

ほらっ！分かるでしょ？！
私はアンタの幼馴染として
私と釣り合う男になって欲しいって言うか

周りが釣り合わないってうるさいからねっ！
でもでもっ、私はアンタに期待してるからねっ！

アンタは絶対強くなれるからねっ！
里一番の忍の私が言うんだから
ぜっっいたい間違いないんだからねっ！

でも私以外の女の尻見るのは止めなさい！
言ってくれたら私がいくらでも…

アセ

アセ



ごめん…カエデ…

…



早く二人で任務出来るように頑張って!

~~~~~っ!

とにかくっ!!

私だって心細いのよ…  
今回の任務だって気乗りはしてないよ?

正直ちょっと危険かもって思ってる  
誰も帰ってこないって言うのがひっかかってて…

痕跡も何も見つからないし  
誰一人なんの手がかりも残さず消えるなんて  
有り得るの…?

まるで神隠しにでも遭ったみたい



或いは

自分の意思で消えたとか…？



えと…カエデ…？

自分で…もしそうだとしたら…  
アイツの正体は…私で対処できるの…？



なーんてね

ははははは…



たぶん彼女は相手の正体に  
感じていた

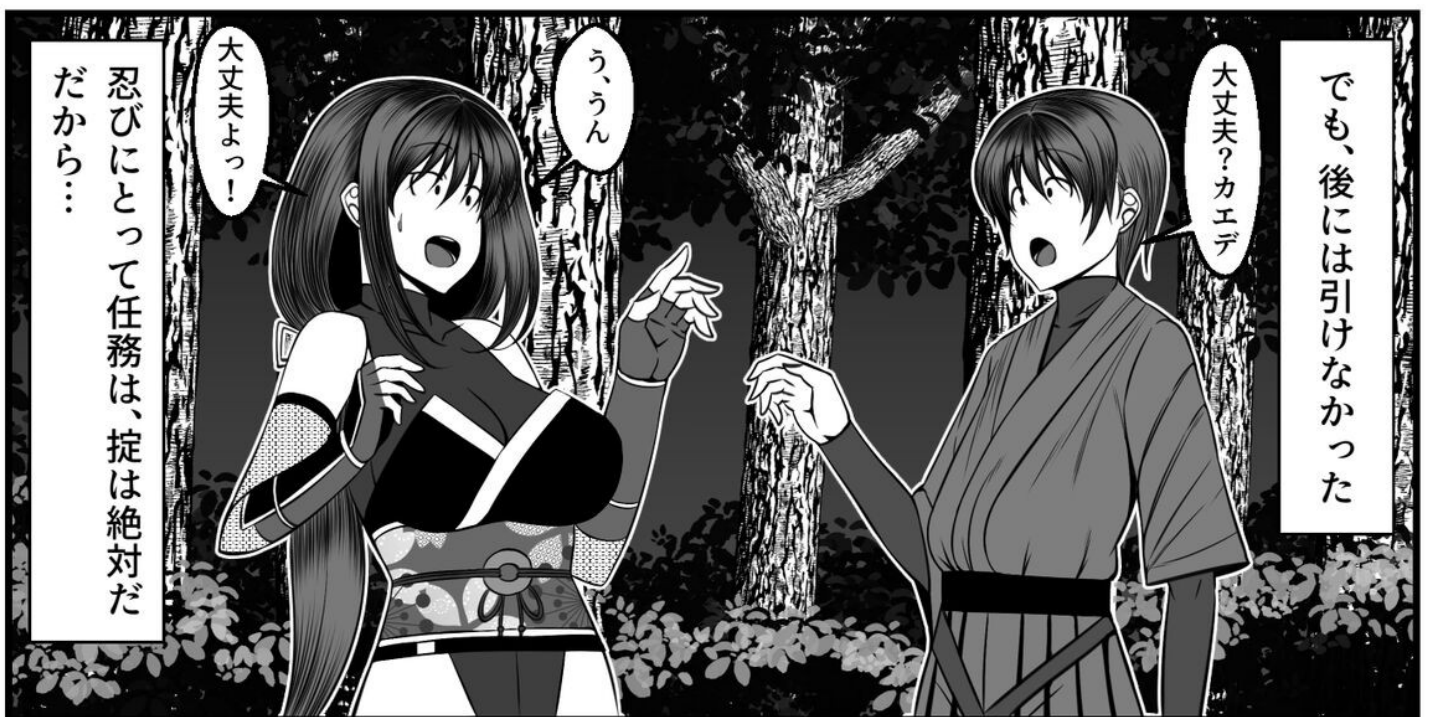


今思えば

僕はこの時、彼女を強く止めるべきだった



もしかしたら自分に起ることも  
分かっていたのかもしれない



でも、後には引けなかった

大丈夫？カエデ

う、うん

大丈夫よっ！

忍びにとって任務は、掟は絶対だ  
だから：

あの時：

もしも、私が帰らなかったら  
小太郎が助けに来てくれるよね？

私、信じて待ってるから

僕は何も言い出せなかった

そしてこれが、カエデとの

小太郎の事だけは

ずっと信じて待ってるから

『僕の知る』カエデとの、最後の別れになった

次に会った時、彼女はもう：

あら？

もう追いかけてこはお終い？  
もう少し粘るかと思ったけど

まあいいわ、仕事が楽で助かるし

サッ

サッ





はあ…

まさかアンタの顔を  
また見ることになるとはね…

里で大人しくしてればいいものを



でも、ガマガチ様を探ろうとする奴は  
例えアンタみたいな三流でも  
野放しにはできないの

面倒だからそのまま  
じっとしててちょうだい

ハッ


ハッ



カエデっ!!

どうしちゃったのっ!  
幼馴染の小太郎だよっ!!

忘れちゃったのっ!?



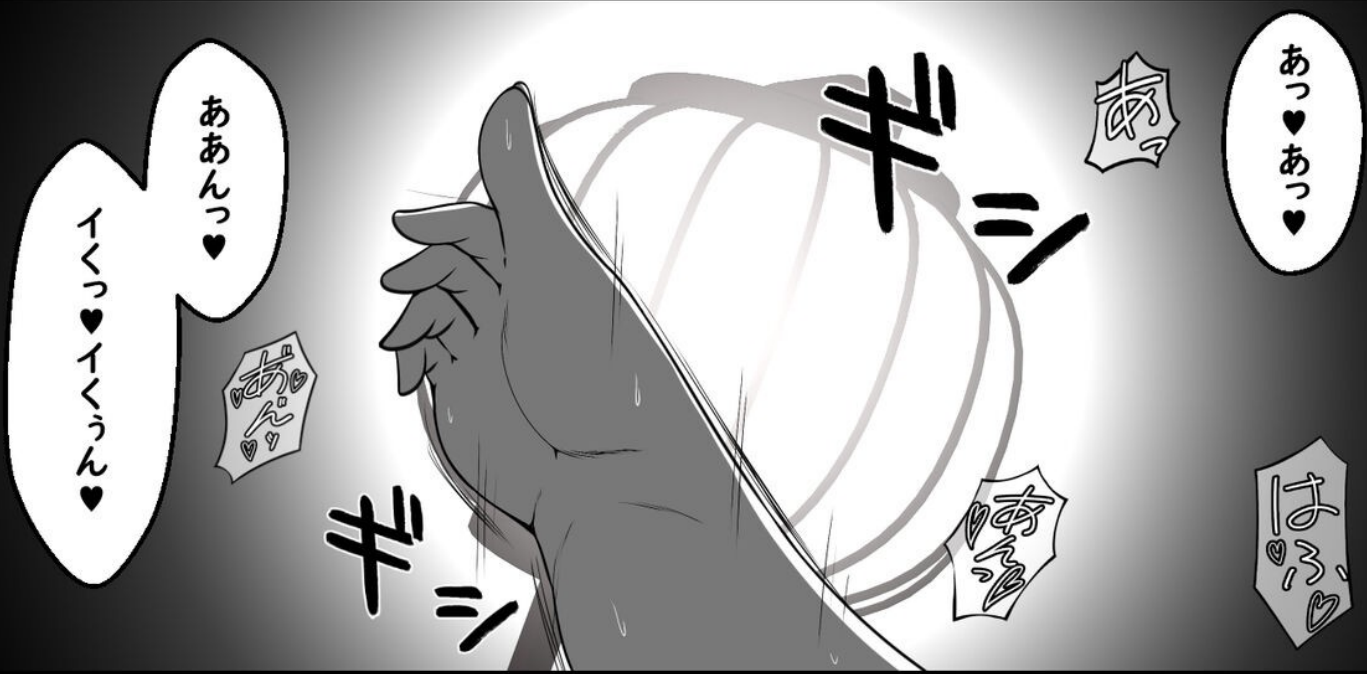
よく覚えてるわよ？  
で？今更何しに来たの？

正直言って相当ウザいわよ、アンタ  
いつまでも私の尻追っかけて来てんじゃないわよ

不快な奴だわ

ザッ

まったく



ああんっ♡  
いくっ♡いくうん♡

あっ♡あっ♡

はっ♡

あっ♡

よしっ！出すぞ  
臍内に出すぞっ！！

はあっ♡はあっ♡  
下さいっ♡早くカエデの臍内にい  
アツアツの子種をっ！早くう♡

あっ♡

はっ！

来て下さいっ！

ズポ

どうぞ、膣内にっ！！

はっ！

奥っ！奥にください！

ズポ

あッ

ビクッ

はっ！

一番奥にい！！

ビクッ

はっ！





ぐふふ

今日も良かったぞ、カエデ

ふふっ♥ガマグチ様ったら  
最近益々お盛んじゃありませんか？

このままだと私  
スグ身ごもっちゃいますよ？

よいではないか  
よいではないか

その為に励んでおるのだ  
お前も早く儂の子を産んでおくれ

あんっ♥もうっ♥  
ガマグチ様ったらあ♥

他の娘にも同じこと言ってるんでしょ？  
罪なお人♥





そんな事はないぞ

お前だけじゃ、お前だけが特別じゃ

ガマグチ様♥

嘘でもうれいす♥

はあッ♥

はる♥



嘘でないと申すに

ワシはお前を妻にすると  
決めておる

ああ…♥ガマグチ様♥  
そんなにカエデの事を♥

あん♥

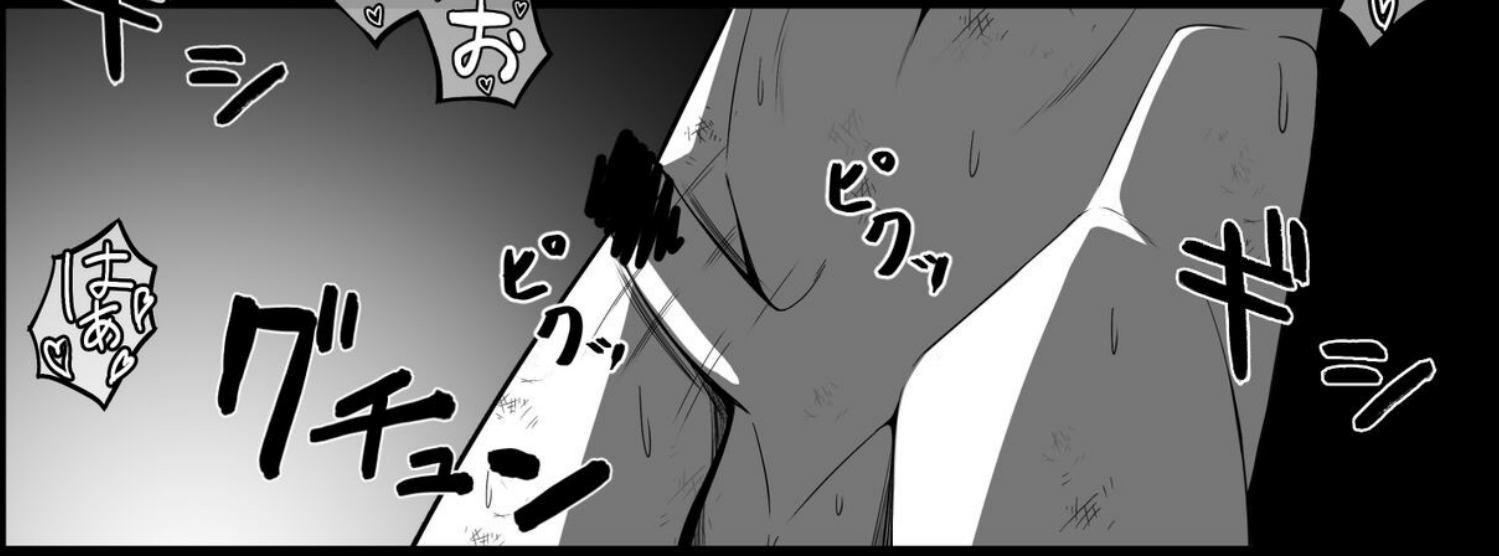
ひう♥

はる♥

あん♥



ああん♥ガマガチ様あ♥



はあ♥

はあ♥



此処か？カエデ  
此処がいいのか？

ああん♥そこお

ソコがいいですう♥  
ガマグチ様あ♥

ギッ

あうん

あうん

ギッ

あ？

ギッ

素敵です  
ガマグチ様っ!!

届くっ♥奥まで届くう♥

あうん

あうん





カエデ…

おおおっ

ギン

んっ

ギン

んっ

んっ

ギン

んっ

んっ

ギン

んっ…

おっ♡おっ♡おおんっ♡



どうしてそんな奴と…

はっ

んっ

ギン

んっ

んっ

はっ

んっ

ギン

もっとおん♡



コタローっ!!

元気出しなよっ!



次は私が相手よっ!!

あんた達っ!またコタローに絡んでるのっ!?

膣内に出しちゃったね

もう、気にしないでってば  
コタローのだもん、私うれしいよ

えっ！もう一回っ!?

そんなに良かった？  
そっ、そっかそんなに良かったんだ…？

えへへ、もうっ  
しょうがないなあ



特別だよ？  
コタローだけ特別なんだからね？

好きだよ、小太郎♡

キュン

キュン



愛してますっ♡

ガマグチ様あ♡

キミ

ア  
ア  
ア

は♡  
あ♡

ハ?

ハ?

キミ

カエデ…

ガマグチ様、この雑魚はどうされる  
おつもりなんでしょうか？

ああ、そういば言っていましたね、  
幼馴染がどうか

ギッ

ギシ

いやなに

この男はワシではなくお前を調べとったようだな  
お前の知り合いではないのか？

全く、いつまで引きずってんだか

あんなに優しくかった君に  
一体何が…

クッ

クッ

クッ

# 第二章

心変わり

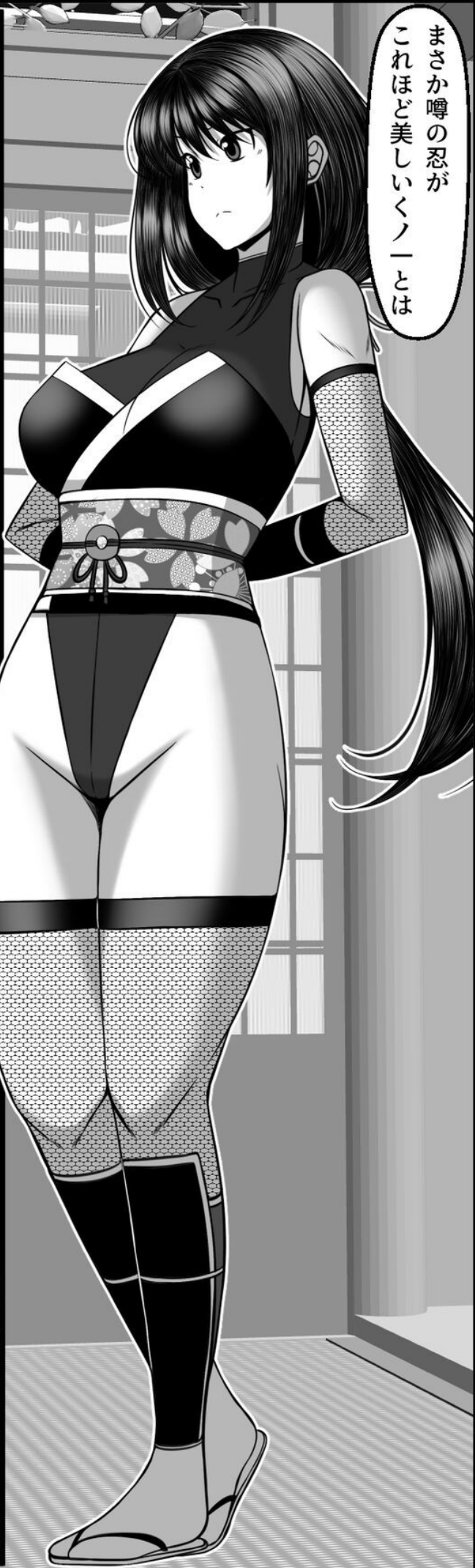
堕ちたくノ一



こちらの被害も大きかったが

生け捕りにして本当に良かった

ギキッ



まさか噂の忍が  
これほど美しいくノ一とは



つく、外れないっ！  
唯の縄じゃないわね



ほう、良く知っておるのう  
なかなか優秀じゃな



術このかかなったものの縄のを用意できるなんて

アンタやっぱり抜け忍ね  
術の系統からして、西の里かしら？



知ってることはそれだけじゃないわよ

西の里を抜けた奴の中に操心術そうしんじゆつに長けたクズがいた事  
そいつが身体的特徴から「毒蛙」って呼ばれてた事

そして、その毒蛙が女を集めて  
自分の私兵にしてるって事もね

なるほど、今までの忍びは  
アンタの術に堕ちたって訳ね

ぐふふ

そこまで知っているなら話が早い  
そう、儂がその毒蛙じゃよ

お前のような若く優秀なくノ一は  
なかなかおらんてな

是が非でも我が手駒として  
手に入れたい。

いや、儂の子を産ませるのも  
いいかもしれんなあ、ぐふふ

キョロ

っ  
!?

その眼っ!!  
それが操心術のっ!!

まずいつ、視線を合わせちゃ!



転心の術!!



助けてっ!小太郎っ!!

ド  
ク  
ン





術のせいで身体の自由が…

抵抗できないっ!!

ギシ

はぁ♡

はぁ♡

ギシ

ギッ



卑怯…者…っ

ズッ

ん…の、

ズッ



ぐふふ

悔しかろう  
悔しかろう  
悔しかろう





ごめん小太郎っ、私、もう…

あっ

!?

あっ

ビクッ

お  
お  
お

…うん

イクッ

貴方以外のマラでイっちゃうっ!!

ビクッ





早く来て小太郎

はあ♡ ビクッ♡ ひい♡

ギッ♡

はあ♡

あ♡あ♡あ♡

このままだと私…

ギッ♡

あ♡あ♡あ♡

ん♡あ♡

ギッ♡

あ♡

私…っ!!

はあ♡

ギッ♡







私が私でなくなる前に…



早く…

早く…

ぶぶぶ

一仕事終わった後の一杯は  
やはり格別じゃなあ



そろそろ諦めたらどうじゃ？

ギッ

美しいノ一よ



ハ？

イヤよ…、誰がアンタのモノになんか  
それに、もうすぐ小太郎が来てくれるわ



健気じゃのう、だが無駄じゃよ  
お前は既にワシの術に掛かっておる

身体が疼くじゃろ？  
記憶も曖昧になってきた筈じゃ

もうすぐお前は完全にワシのモノとなる



下腹部が疼く…っ!!

コイツのマラの感覚が

ドクーン

ぎゅっ

ドクーン

ゾク

忘れられない

ゾク



嫌なのに…

嫌な筈なのに…

びく

びく





ちよっ、ちよっと!!

なにやってんのよ!?  
やめてっ、離れなさいよっ!!

ギッ

誘ってきたのはそっちじゃろ?

なに、素直になる手伝いを  
してやるだけじゃよ

ギン



あっ、そこはっ…

やめっ、あん♥



っっ!!ふざけないでっ!!

誰がアンタなんかっ!!



女が疼く…



そんな奥まで…  
ダメ…ぐりぐりしちやだめえ…

ギッ

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

ああ…スゴイ…  
こんな初めて…

ギッ



私の…

ズプ

きゅうう

雌の部分が…

ズプ



心が…削られていく…  
気持ち揺らぐ…

小太郎っ！私っ！

やぁあぁ

はぁ♡







おほほ〜

ええぞ、ええぞ その調子じゃ  
いい手つきじゃ〜

つく、ちよつと黙りなさい!?

あと動かないでっ!!  
擦りにくいっ!?



なにやってんのよ私!!  
こんな奴のマラを…

マラを…っ!!



シユキあげてるのっ!?


なんでこんなに必死に



うるさいわねっ!!  
それは分かったからっ!?



おほおくとまらないのう



私、変だわ



コイツへの嫌悪感が



さっきから

無くなって来てる



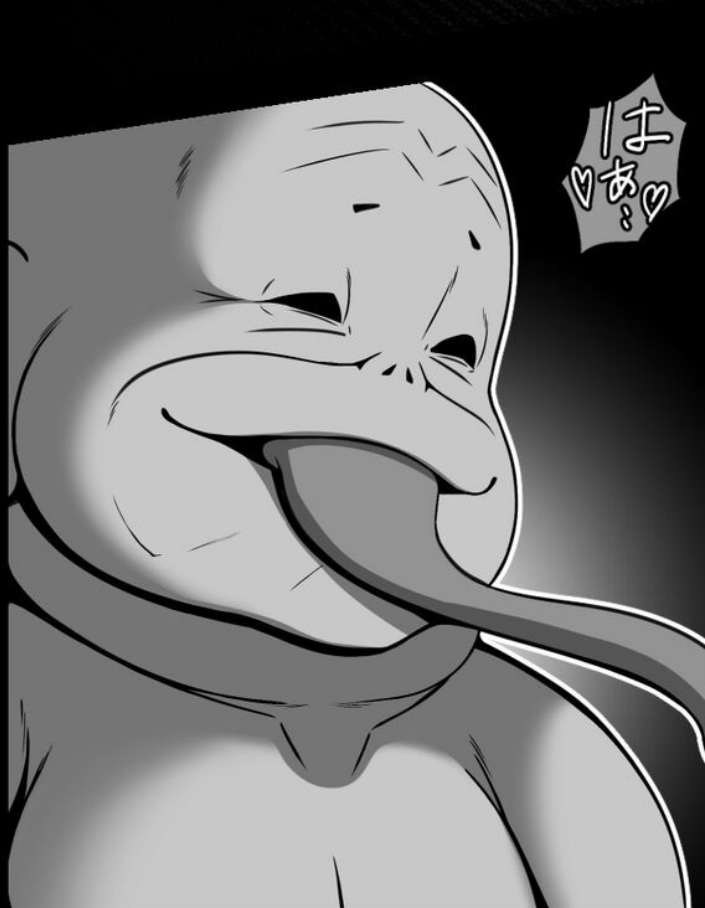
いいえ、それどころか

どんだん…

トロオ…

染められていくような...

どンドンコイツの色に





具合はどうだカエデ

ワシの舌は  
気持ちよからう？



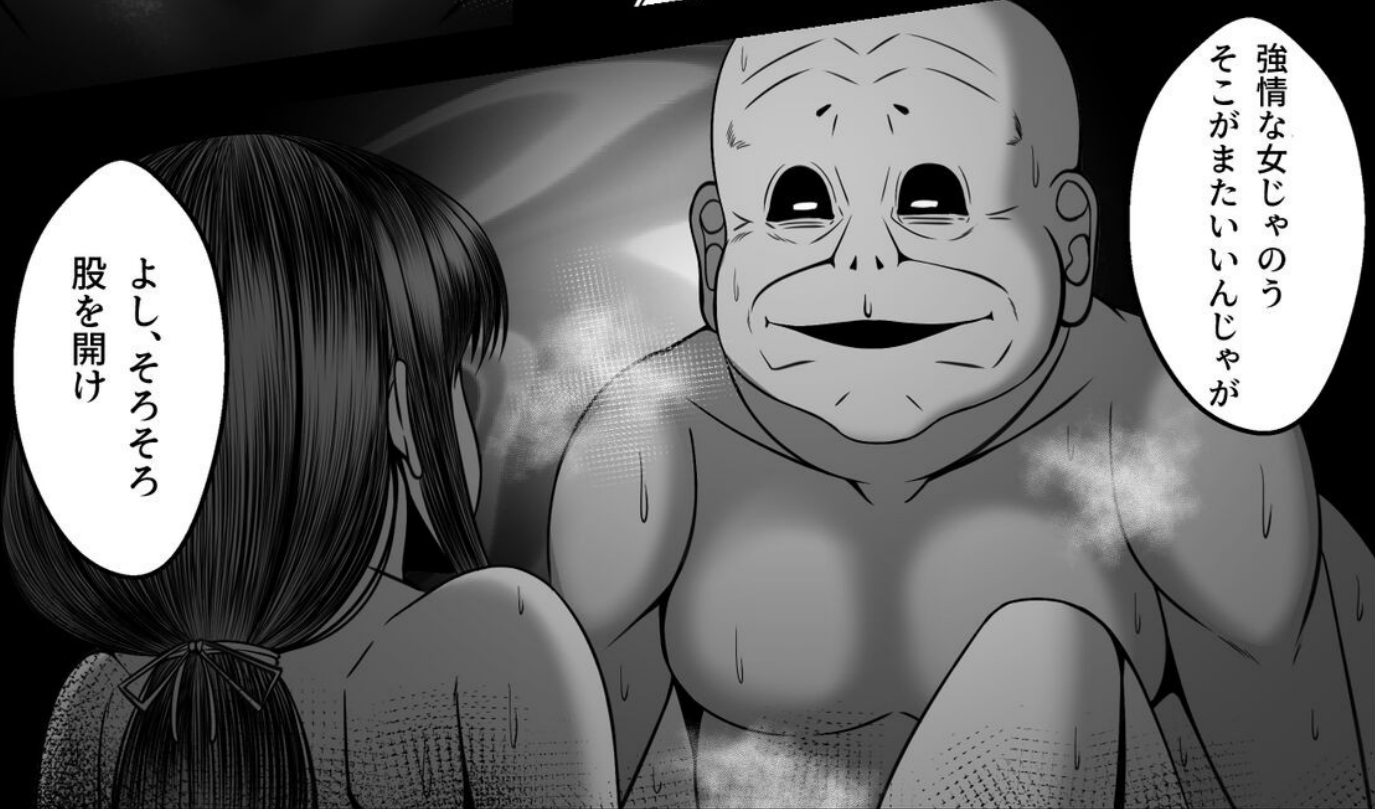
ヒッ

ヒッ



べっ別に…

普通よっ！  
小太郎だってこのくらい…



強情な女じゃのう  
そこがまたいいんじゃが

よし、そろそろ  
股を開け

ふふ…

なあに？一つになりたいの？  
私の穴そんなに良かった？

いいわ、本当は小太郎専用の穴だけと  
特別に使わせてあげる

ハア

ハア

ハッ

くはぁっ

あれ…？

あ

ギ

ギ

私何言ってるの？

ギ

ズポ

ん

は

ス

ス

は

どうして自分から  
股を開いて…





...やばいっ!?

心まで汚染されてきてる!!

このままだと私



この男のモノにっ!?



本当に

まっ待ってっ!!  
ちよっとっ!?

この男の事

ギッ グチュン

あッ

はあ♡♡

グチュン

ふふ

アッ

好きにされちゃう!?

ギッ

はあ♡♡

ずぶ

ずぶ



この卑怯者っ!!

正々堂々攻めてきなさいよっ  
男としての自身が無いのっ!?



えっ!?

待ってっ!!

そっその眼は止めてっ!!

いっ、言い過ぎたわ  
だからその術はもう止めてっ!!

ビクッ



…?条件…?  
アンタに乗り換えろって…?

なっ何言い出すのよっ!?  
無理よっ!!私には小太郎がっ!?



ちよっと待って  
子供って…駄目よ、そんな…

あっ♥子袋突いちゃだめ  
ねえ、お願いだからこれ以上  
心を揺さぶらないで…

んっ♡3人?  
3人でいいの?

私は…5人くらいは  
欲しいかな…なんて♡

どどど

ハッ

ハッ

ギシ

ギシ

ハッ

ツ!  
!?

ビクッ

違っ!!今のはっ!?

眼を使ったわねっ!!  
使っていない?そんな筈はっ!?

ハッ

ギッ

ギッ

ハッ



あっあっ♡

ごめんね小太郎…っ  
私っ…私っ…!?

ハア

あっ♡♡♡

好きっ…好きよ小太郎…  
でもっ…でもっ…!!

ハア

私もう我慢できないっ!!  
我慢できないのっ!!

ハッ

♡♡♡

グググ

グググ

ハア



あふっ♡

いっ言うからっ  
言うからちよつと待って

アッ

私は…カエデは…  
アンタの…

ズポ

んっ♡

ガマガチ…さ…の…

アッ

キュン

キュン

アッ

ズポ



ああ…変わっていく…

グチュン

あ

グチュン

サ

サ

あ



私の身体が…心が…記憶が…

サ

あ

グチュン

ガマグチ様のっ

ほあ♡

あ♡

あ♡

黒く染まっっていく…

ビクッ

キュン

ビクッ

キュン

子供が産みたいですううううううううううう!!!?!?

あ♡

来た…濃厚で邪悪な子種が…

どく、**コキュ**ん **コビュ**

**コキュ**

**コビュ**

**ドク**

**アッウッ**

**ドク**

私の子袋に

**ビクッ**

**ビクッ**

浸み込んでくる

私の身体に

ドクソ

ドクソ

ドス黒い感情に支配されていく

ああ…なんて…

ドクソ

ドクソ

人口オ

なんて

素晴らしい気分なの

ドクーン...

第三章 悪徳商人の美人妻

今日も始まった

はあ♡

はあ♡



捕まったあの日から

ビクッ

目の前で繰り返される



この二人の情事

あく良イ♡  
ガマグチ様あ♡

もっとお♡  
もっとガン突きしてえ♡



はあ♡

アッ

アッ

アッ

あッ

んあ♡

ギミ

ズバ

まるで長年連れ添った夫婦のように



ギッ

アポッ

ギシ

ギシ

息の合った子作り

はぁ♡

あ♡♡

あ♡

あ♡

あ♡

アポッ

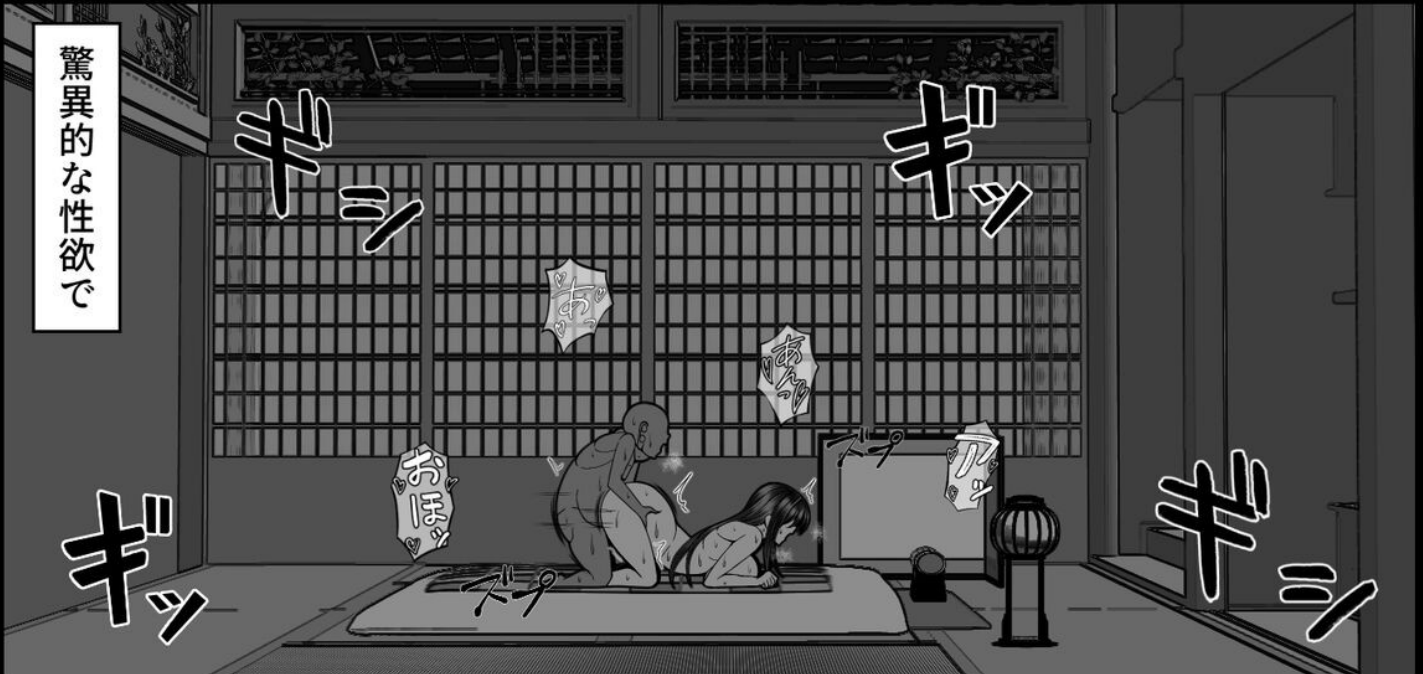
はぁ♡

はぁ♡

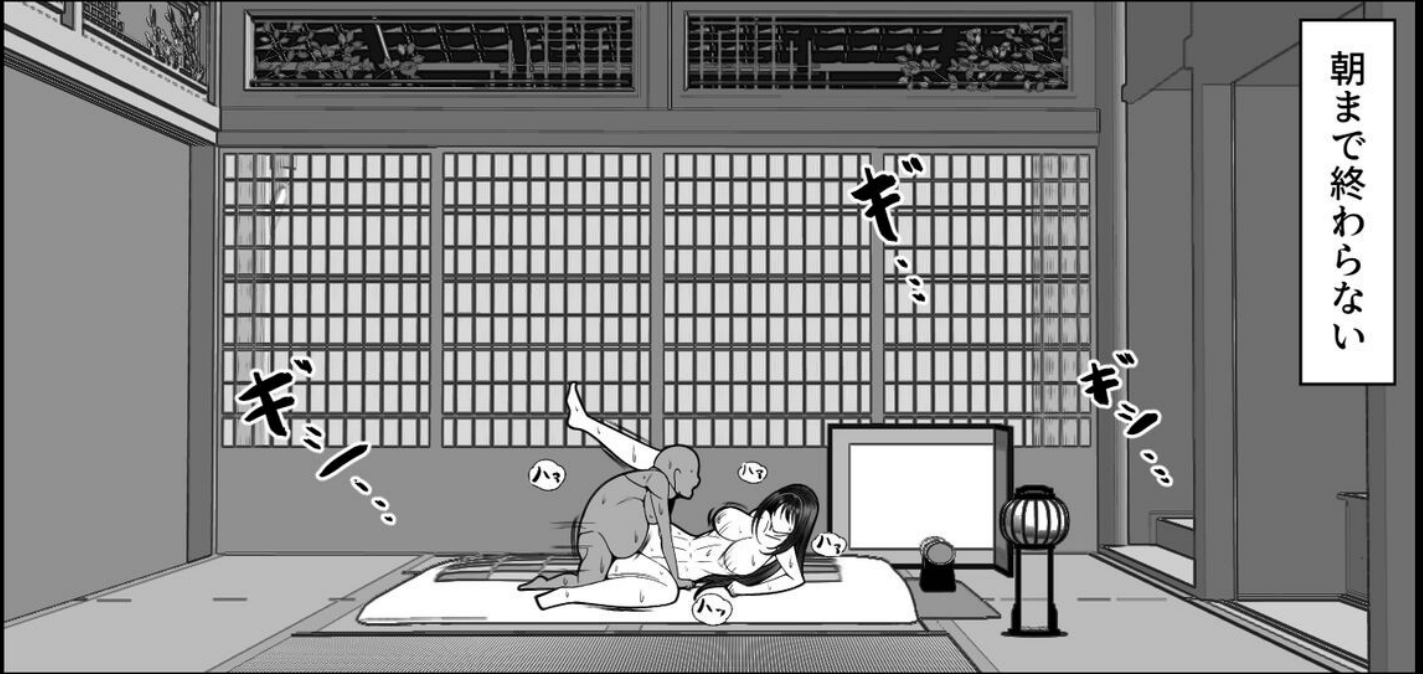
そして、一度始まると



驚異的な性欲で



朝まで終わらない









初めの頃はもっと色々な顔してたのに

つまんないなあ



もう、最近全然反応しないわね  
アンタ



とっておきの情報よ？



ふふっ  
じゃあねえ、こんなのはどう？

私ね、授かっちゃった

ガマグチ様の赤ちゃん♡

ヒュー

まだお腹は大きくなってないけど

ここがちゃんといるのよ？

それともう一つ

トクッ

トクッ



私たち正式に

夫婦になることになったから

彼女の言葉通り、その身体には僕以外の男の命が宿っていた



それから数か月後

頭が出たっ!!

もう少しよっ!?

さあ、息んでっ!!

息んでっ!!



カエデは元気な女兒を出産した

初めての我が子を抱く彼女の表情はとても満ち足りていて  
僕は彼女が完全にあの男のモノになったのだと理解した…





おい、見ろよ

あゝ、ガマガチの旦那のこの

たしか…、そう、カエデ様だ



相変わらずすげえ  
べっぴんさんだなあ

だなく

3人もひり出したとは思えない  
若々しさだぜ

あの柔らかかそうな尻  
堪んねえなあ

きつと旦那は毎日  
あの身体を味わってんだろうな

スイカ  
西瓜みたいな大ききだもんな

乳のほうも相当デカイよな

ユサ

ユサ

あゝ、俺もカエデ様に仕込みてえ

フー

フー

ぢゅっ

フー

ぢゅっ

ぢゅっ

馬鹿っ!? デカイ声でなんてこと言ってんだっ!!

やっべっ!?

ぢゅっ

じゅぽ

フー

んも

ぢゅぽ

んも

じゅる

命が惜しけりや  
旦那のモノに手を出すな

こころじゃ常識だぞ

この間川で上がった  
仏さんみたいになりたくなかったら

はあ♡

キア...

アアア

はあ♡

キア

はあ♡

はあ♡

絶対にカエデ様には近づくな  
ありやガマガチの旦那のモノだ

身も心もな

キュー

悪徳商人の美人妻END

